

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	市民協働課 No.27
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備						
取組	女性活躍推進のための講座などの開催						
具体的な取組内容	女性活躍推進のために職場環境を考える講座などを開催する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	企業の人事担当者や労働者が、職場での適切な人員配置と必要な業務改善について考えることで、働きやすい職場環境の整備がすすむ。						
指標	女性活躍推進のための講座の受講者数			指標の出典	—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	＜平成28年度＞						20人
実績	—	10人	15人	15人	16人		
活動計画	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、講座を開催する。						進捗状況
3年度 活動実績	子育て世代の若い女性が参加したエンパワーメント講座の中で話し合いを実施した。						B
課題等	若い世代のエンパワーメントを高める講座を検討する。						
次年度の活動計画	新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、若い女性が参加できる講座を開催する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	子育て支援課 №.28
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備						
取組	子育て家庭への支援の充実						
具体的な取組内容	地域子育て支援拠点事業を充実し、子育てへの不安解消の手助けをする。						
男女共同参画の視点からの達成目標	子育て中の市民が、子育ての不安が解消することによって、子育てに前向きになる。						
指標	子育て支援センター、つどいの広場利用人数			指標の出典	一		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						85,000人
実績	80,664人	108,986人	88,631人	28,486人	40,515人		
3年度	活動計画	子育て支援センター5か所 つどいの広場4か所					
	活動実績	子育て支援センター5か所（子育て相談や子育て情報の提供、子育てサークルの支援など） つどいの広場4か所（親子が気軽に立ち寄り、自由に過ごせる場の提供）					
	課題等	新型コロナウイルス感染症対策のため、密を避けるため人数制限等を行っていることもあり、利用人数は少なくなっている。新型コロナウイルス感染症の状況をみながら開所方法について検討していく必要がある。					
	次年度の活動計画	子育て支援センター5か所 つどいの広場4か所					

※人数制限は令和2年度より緩くなっているが、まだ制限解除はできない。状況をみながら人数制限の見直しを検討していく。

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	3 男女共同参画社会の実践					担当課	生涯学習課 N.29	
施策	(3) 家庭的責任をともに担うための環境の整備							
取組	女性のライフプランニング支援							
具体的な取組内容	積極的な社会参画を目指す女性をはじめ、女性が充実した生活を送るための講座を開講する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	女性が充実した生活を送るための講座を受講することで、積極的な社会参加が望めるようになる。							
指標	女性が充実した生活を送るための講座実施数			指標の出典				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>						1回	
実績	一	8回	9回	4回	10回			
活動計画	女性のライフプランニングを支援する講座を継続して実施する。							進捗状況
3年度 活動実績	女性が充実した生活を送るための多種多様な講座を開講し、好評であった。							A
課題等	女性の社会参画が多様化してきているため、ニーズに応じた講座企画を進める必要がある。							
次年度の活動計画	今後も女性のライフプランニングを支援する講座を継続して実施する。							

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	市民協働課 N.30
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進						
取組	地域団体や組織等に対する男女共同参画に関する情報・学習機会の提供						
具体的な取組内容	町内会などの各地域における地域団体や組織などへ積極的に男女共同参画を働きかける。						
男女共同参画の視点からの達成目標	各種団体が、男女の隔たりなく活躍できるようになる。						
指標	① 町内会長に就く女性の割合		指標の出典		—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>						10%
実績	0%	2.5%	4.9%	1.2%	2.5%		
3年度	② 町内会等への啓発回数		指標の出典		—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>						2回
実績	0回	3回	3回	2回	3回		
活動計画	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、男女共同参画についての啓発を行う。					進捗状況	
3年度	①町内会長に就く女性の割合（女性数2人／町内会長総数81人） ②男女共同参画週間イベント、月間イベント及び男女共同参画セミナーを啓発。					① C ② A	
活動実績							
課題等	町内会の役員に女性の登用が進んでいない。						
次年度の活動計画	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を考慮しながら、男女共同参画についての啓発を行う。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	危機管理課 No.31
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進						
取組	防災活動における男女共同参画の推進						
具体的な取組内容	防災会議などへの女性委員の登用や、女性の視点から考えられる避難所の備蓄品整備を推進する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	女性の意見が防災計画や備蓄品計画に反映される。						
指標	① 女性の視点に配慮した備蓄品の配備	指標の出典	女性の視点に配慮した備蓄品（トイレ用ラントン、除菌消臭剤、ウェットティッシュ）の配備				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ 配備完了
実績	配備なし	備蓄品の購入	備蓄品の配備	備蓄品の配備	備蓄品の配備		
指標	② 防災会議の女性の登用率	指標の出典	-				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ 30%
実績	8%	14.3%	14.3%	14.3%	14.3%		
活動計画	①期限切れにならないよう、防災備蓄品は計画的に更新を実施する。 ②防災会議は、引き続き女性委員の登用を図り、登用率の改善を検討していく。					進捗状況	
3年度	活動実績	①購入した備蓄品の配備を進めた（サニタリーボックス等）。 ②防災会議の女性登用率の改善を図るため、委員を選出している各団体に対し、女性委員の選出を依頼した。					① B ② B
	課題等	①防災備蓄品は、使用期限を考慮して隨時更新する必要がある。 ②防災会議は、条例で定める各団体から委員を選出しており、団体の代表者が男性の場合は女性の登用率が上がらない。					
次年度の活動計画		①期限切れにならないよう、防災備蓄品は計画的に更新を実施する。 ②防災会議は、引き続き女性委員の登用を図り、登用率の改善を検討していく。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課 市民安全課 No.32	
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進						
取組	女性を狙う犯罪から身を守るために講座の開催						
具体的な取組内容	女性を狙う犯罪から身を守るため、防犯教室などの講座を開催し、防犯に対する意識の向上を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	防犯教室等の参加者が、実践を多く行うことにより、女性の防犯意識が高まるとともに、対応策を身に付けることで不審者に対する心構えができるようになる。						
指標	女性対象防犯教室の参加者数（累計）			指標の出典			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>					→ 1,940人 (1,673人)	
実績		1,142人 (累計)	1,400人	1,502人	1,502人	1,617人	
3年度	活動計画	新型コロナウイルス感染拡大の防止に最大限配慮し、開催可能な方法を検討して開催するよう努める。					進捗状況
	活動実績	令和3年12月17日（金）に東洋アリーナ安城にて開催。					B
	課題等	新型コロナウイルス感染拡大の防止に最大限配慮しつつ、効果的な講習内容を検討する。					
	次年度の活動計画	新型コロナウイルス感染拡大の防止に最大限配慮しつつ、効果的な講習会を開催する。					
	目標値変更の根拠	(令和3年度) 当初、令和5年度の目標値を各年度114人伸びると想定し設定したが、令和3年度以降はコロナ禍の中でスペースを取りながら実施することとし、各年度114人の半数である57人が参加するという目標値に修正する。1,502人 + (114人 ÷ 2 × 3年間) = 1,673人					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課 市民協働課	市民協働課 N.33	
施策	(1) 地域・市民活動や防災・防犯分野における参画促進							
取組	男女共同参画に取り組む市民活動団体の育成							
具体的な取組内容	様々な団体と連携し、男女共同参画の趣旨を理解し男女共同参画の視点で活動する団体を増やす。							
男女共同参画の視点からの達成目標	市民活動団体が、それぞれの分野の取組の中で男女共同参画を促進するようになる。							
指標	男女共同参画の活動を行なう団体数			指標の出典 市民活動センターの登録団体のうち男女共同参画にチェックのある団体数				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標 <平成28年度>	31団体						32団体	
実績	33団体	34団体	32団体	32団体				
3年度	活動計画	町内会や市民活動団体等へ男女共同参画の趣旨を啓発し、男女共同参画をすすめる事業に市の補助金等を支給する。						
	活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・町内会へ男女共同参画の情報提供を実施した。 ・市民活動団体へ、男女共同参画に関するイベントの案内や情報誌を配布した。 ・男女共同参画の推進に取り組む団体に市民活動補助金を交付した。 						
	課題等	連続して男女共同参画の市民活動補助金を受託する市民団体が少ない。						
	次年度の活動計画	町内会や市民活動団体等へ男女共同参画の趣旨を啓発し、男女共同参画をすすめる事業に市の補助金等を交付する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課 [赤枠]	健康推進課 N.o.34
施策	(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進						
取組	妊娠や出産に関する健康支援の実施						
具体的な取組内容	子どもを望む夫婦を支援するため不妊治療費の助成を行う。また、妊娠婦健康診査の実施にあたり、受診しやすいように妊娠婦健康診査費の助成を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	助成を受けた夫婦が、経済的負担の軽減により、安心して妊娠に向けて取り組んだり、出産を迎えるようになる。						
指標	妊娠11週までの妊娠届出率		指標の出典	妊娠11週までの届出数/全届出数			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標 <H28年度>							95%以上
実績	95.8%	96.4%	95.4%	96.0%	96.7%		
活動計画	不妊治療において、国の動向に合わせ、対象治療・費用限度額を検討していく。 妊娠婦健康診査費の助成については、継続して実施し安心安全な妊娠出産ができるよう支援する。						進捗状況
3年度 活動実績	不妊治療費の助成：申請件数352件 助成金額 11,560,000円 ・令和4年4月から不妊治療の一部が保険適用になることを受け、次年度の助成方法について検討した。 妊娠婦健康診査費の助成： ・令和3年4月から多胎妊娠へ妊娠健康診査5回分を追加交付し、健康診査費用の負担軽減を図った。						A
課題等	不妊治療の助成 ・今後も不妊治療を行う方の経済負担の軽減が図れるよう、助成実績や他市の助成状況等を踏まえて助成内容の検討が必要となる。 妊娠婦健康診査の助成について ・妊娠中の早期からの健康管理のため、妊娠11週までの妊娠届け出につながるよう周知する。						
次年度の活動計画	不妊治療において、助成実績や他市の助成状況等を踏まえ、助成内容を検討していく。 妊娠婦健康診査費の助成については、継続して実施し、安心安全な妊娠出産ができるよう支援する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	健康推進課 N.o.35
施策	(2) 性差を踏まえた健康づくりの推進						
取組	男女特有の疾病に対する予防支援						
具体的な取組内容	各種がん検診の実施や保健指導・健康教育などを通じ、性差に応じた健康課題に対する予防支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が、男女特有の疾病（子宮頸がん、乳がん、前立腺がん）の検診受診の重要性を認知することで検診を受診するようになる。						
指標	乳がん検診受診率		指標の出典	乳がんの受診率（国保加入者）			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ 28%
実績	17%	17%	26.6%	25.6%	25.0%		
活動計画	国保加入者のうちのがん検診の対象者に対し、受診しやすくなるよう体制を見直す。						進捗状況
3年度 活動実績	特定の年代に対し、がん検診の受診勧奨はがきを個人通知することで、受診勧奨に努めた。 がん検診受診券送付のためのシステム構築、安城市医師会との協議を行った。						B
課題等	がん検診の希望者は、あいち電子申請・届出システムや電話により検診票を取り寄せる必要がある。						
次年度の活動計画	特定健康診査対象者に対し、特定健診受診票と一緒にがん検診受診券を送付することで、受診率の向上を目指す。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	保育課 N.36
施策	(3) 参画を助ける環境の整備						
取組	通常教育・保育事業の推進						
具体的な取組内容	「安城市子ども・子育て支援事業計画」に基づき保育所における受入体制を整備する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	保育を希望する市民の子どもが、より多く保育園等に入所できるようになる。						
指標	保育園等への入園申込をした児童のうち、どこにも入園できなかつた児童の人数（再掲）		指標の出典				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度> 0人						→ 0人
実績		19人	5人	1人	0人		
3年度	活動計画	引き続き適切な利用調整を実施するとともに、令和4年度開園予定の新園（私立）設立の準備を行っていく。					進捗状況
	活動実績	保育園の申込状況に応じて入園選考指数に基づき適切な利用調整を行い、令和4年度開園の新園設立の準備を行った。また、令和5年度開園予定の新園の民間事業者を決定した。					A
	課題等	毎年待機児童が発生しないようにする。					
	次年度の活動計画	引き続き適切な利用調整を実施するとともに、令和5年度開園予定の新園（私立）設立の準備を行っていく。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	保育課 No.37	
施策	(3) 参画を助ける環境の整備							
取組	一時預かり事業、時間外保育事業、病児・病後児保育事業等の充実							
具体的な取組内容	働く男女を支援するため、一時保育、休日保育、延長保育、病児・病後児保育などの各種保育・子育て支援サービス事業を推進する。							
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が、多様な保育サービスを受けることで、就労等で保育を必要とする父母が安心して子どもを預けられる。							
指標	一時、休日、延長、病児・病後児保育実施園数		指標の出典					
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>						一時：10園 休日：2園 延長：32園 病児・病後児：1園	
実績	一時：9園 休日：2園 延長：31園 病児・病後児：1園	一時：10園 休日：2園 延長：32園 病児・病後児：1園	一時：11園 休日：2園 延長：36園 病児・病後児：1園	一時：11園 休日：2園 延長：36園 病児・病後児：1園	一時：11園 休日：2園 延長：36園 病児・病後児：1園			
3年度	活動計画	引き続き、各種保育・子育て支援サービス事業の適切な実施調整を行う。						進捗状況
	活動実績	令和4年度開園の新園で延長保育を実施できるよう調整した。 令和5年度開園予定の新園について、延長保育を実施できる民間事業者が決定した。 ただし、一時保育の実施については未定。						A
	課題等	保護者のニーズを把握し、適切な保育の実施ができるよう要望に応える必要がある。						
	次年度の活動計画	引き続き、各種保育・子育て支援サービス事業の適切な実施調整を行う。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	子育て支援課 No.38
施策	(3) 参画を助ける環境の整備						
取組	放課後児童健全育成事業（児童クラブ）の推進						
具体的な取組内容	昼間保護者が就労等で家庭にいない小学生を対象に放課後児童健全育成事業を実施し、児童の健全育成を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	それぞれの家庭の状況を踏まえて、働く保護者が安心して子どもを預けられるように子育てできるようになる。						
指標	① 児童クラブへの入会申込をした児童のうち、どこの児童クラブにも入会できなかった児童の人数	指標の出典					
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ 0人
実績		0人	2人	2人	0人		
3年度	② 児童クラブ入会登録児童数			指標の出典			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ 2,000人
実績		1,852人	2,077人	2,146人	2,148人	2,146人	
活動計画	【令和3年4月1日現在】 公営 56施設 定員2,410人 民間 3施設 定員 116人。						進捗状況
3年度 活動実績	【令和3年4月1日現在】 公営 56施設 受入2,050人 民間 3施設 受入 96人。						① A ② A
課題等	1～4年生は全校で受け入れ、5・6年生は11校で受け入れをしたが、学校によっては4年生以下の利用児童が増加しており、定員、放課後児童支援員ともに不足している。						
次年度の活動計画	【令和4年4月1日現在】 公営 57施設 定員2,495人 民間 3施設 定員 116人。						

基本目標	4 男女の自立と共生・参画を進める環境の整備					担当課	人事課 N.o.39
施策	(3) 参画を助ける環境の整備						
取組	市職員における介護離職ゼロに向けた取組の推進						
具体的な取組内容	市職員における、高齢化の進行に伴う介護離職等を防止するため、介護休業制度の定着を促進する。						
男女共同参画の視点からの達成目標	全ての職員が、介護休業制度を十分認識し、夫婦・家族で介護を担えるようになる。						
指標	介護休暇制度の周知回数			指標の出典			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						3回 →
実績	1回	1回	1回	2回	3回		
活動計画	①②により、引き続き積極的に職員へ制度を周知する。 (令和2年度実績①介護休暇制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトへ掲載し周知した。②新規採用職員への勤務概要説明時に介護休暇制度について説明し周知した。)						進捗状況
活動実績	①介護休暇制度を掲載した人事事務必携を職員共有サイトへ掲載し周知した。 ②新規採用職員への勤務概要説明時に介護休暇制度について説明し周知した。 ③職員共有サイトに申請様式を掲載するとともに、制度の概要説明を記載し周知した。						A
課題等	実際に周知できているか不明。						
次年度の活動計画	①～③により、引き続き積極的に職員へ制度を周知する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶				担当課	市民協働課 N.o.40	
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	LGBTなど、多様な性に関する理解促進						
具体的な取組内容	性的少数者（LGBTなど）に対する理解を深めるための啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市民が性的少数者（LGBTなど）に対する対応方法を理解し、多様性を認め合うようになる。						
指標	市民向け啓発回数	指標の出典		-			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>	職員向けに実施	市民向けに実施				
実績	一	7回	7回	6回	7回		
3年度	活動計画	イベント等で性的少数者（LGBT等）を理解促進する啓発を実施する。					進捗状況
	活動実績	市民向け • エンパワーメント講座の受講生に啓発 • 男女共同参画週間イベントにてLGBTの講演を実施 • 3歳児の保護者にLGBTのリーフレットを配布 • 中学3年生にLGBTに関する内容を含むリーフレットを配布 職員向け • 職員向けにLGBT研修を実施（84人参加） • 園長会にてLGBTに関する内容を含む研修を実施 • 新規採用職員に研修を実施					A
	課題等	教職員のLGBT研修の参加を促進する必要がある。					
次年度の活動計画		引き続きイベント等で性的少数者（LGBT等）を理解促進する啓発を実施する。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 N.o.41
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	あらゆるハラスメントの防止に向けた啓発						
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	ハラスメントをする人が人権侵害をしないようになる。						
指標	—		指標の出典		—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	＜平成28年度＞ —	—	—	—	—	—	→ —
実績	市公式ウェブサイトに掲載	啓発・研修を実施	啓発・研修を実施	啓発・研修を実施	—	—	
活動計画	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止について啓発する。						進捗状況
3年度 活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・中学3年生にデートDVについてや性の多様性などの理解を深めるリーフレットを配布した。 ・女性のDV相談及び男性のDV相談先のミニパンフを公共施設で配布した。 ・DV職員研修を実施した。（53人参加） 						A
課題等	ハラスメント等を受けている人が相談できているか把握できない。						
次年度の活動計画	引き続き様々なハラスメントや人権侵害問題の防止について啓発する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	学校教育課 No.41
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	あらゆるハラスメントの防止に向けた啓発						
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	教職員が、様々なハラスメントや人権侵害問題を意識するようになる。						
指標	教職員向け研修会への参加者割合			指標の出典			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						50%
実績	—	25%	29%	0%	23%		
活動計画	研修会への積極的な参加を働きかけながら、理解を深めるための啓発を継続させる。						進捗状況
3年度	活動実績	県主催の研修会に新任校長8名、新任教頭8名、中堅教員93名、新任教員33名の計140名が参加した。 また、長期休業中に研修会を実施し、教務主任、校務主任、養護教諭、希望者の91名が研修会に参加した。 (教職員1,000人中231人)					
	課題等	県主催の研修会を含め、様々な研修会への参加を働きかけ、より多くの教職員が様々なハラスメントや人権侵害問題を意識できるように、ハラスメント防止に向けた啓発を継続して行う必要がある。					
・次年度の活動計画	引き続き、県主催の研修会を啓発し、長期休業中の研修会を計画する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	商工課 N.o.41
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	あらゆるハラスメントの防止に向けた啓発						
具体的な取組内容	様々なハラスメントや人権侵害問題の防止に向けた啓発を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	事業主が、人権侵害の防止の取り組みをするようになる。						
指標	ハラスメントに関する啓発回数		指標の出典				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→
実績	一	0回	2回	4回	5回		
3年度	活動計画	国・県等よりのチラシ等による啓発を行う					進捗状況
	活動実績	チラシの配布を行い制度理解を促進した。					B
	課題等	継続して周知を進めることで、今後ますます各種制度の理解が深まるよう取り組みを進める。					
	次年度の活動計画	国・県等よりのチラシ等による啓発を行う					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.42
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、安心して生活を立て直せるようになる。						
指標	DV相談の相談件数			指標の出典			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>						→
実績	1件	0件	1件	0件	0件		
活動計画	新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、相談者の気持ちと今後についての検討を十分に行い、関係部署での連携が図れるようする。						進捗状況
活動実績	市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有して、DV庁内会議を開催した。						
課題等	新型コロナウイルス感染症の影響による相談者の増加が不明確である。						A
次年度の活動計画	引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を踏まえて、相談者の気持ちと今後についての検討を十分に行い、関係部署での連携が図れるようにする。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民安全課 N.o.42
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	女性が安心して、相談できるようになる。						
指標	女性相談の相談件数		指標の出典		—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>					—	
実績		71件	80件	79件	69件	87件	
活動計画	女性相談を実施する。					進捗状況	
3年度	活動実績	年間を通して（毎週水曜日）、相談窓口を計49日開設した。 1日あたり相談件数1.78件（令和元年度1.55件/日、令和2年度1.56件/日）					B
	課題等	引き続き、様々な方法で市民への周知を図る必要がある。					
次年度の活動計画	女性相談を実施する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.42
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、安心して生活を立て直せるようになる。						
指標	① 母子相談の相談件数			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→ -
実績	636件	1,137件	907件	870件	1,062件		
3年度	② 子育て相談の相談件数			指標の出典	-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<H28年度>						→ -
実績	123件	152件	145件	107件	100件		
指標	③ DVや児童虐待に関する相談			指標の出典	-		
基準年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	
目標	<H28年度>						→ -
実績	174件	117件	69件	41件	34件		
活動計画	外国人向けのDVや児童虐待に関する案内チラシを作成し、対応の充実を図る。						進捗状況
活動実績	外国人向けの児童虐待防止チラシを6か国語（日本語・英語・ポルトガル語・中国語・ベトナム語・フィリピン語（タガログ語））で作成し、ホームページに掲載した。						① A
課題等	DVや児童虐待を始めとする各種相談に対する対応の充実を図る必要がある。						② A
次年度の活動計画	子ども家庭総合支援拠点を中心に、相談、助言、指導できる体制を維持する。						③ A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	社会福祉協議会 No. 42
施策	(1) 多様性を認め合う社会環境の整備						
取組	様々な相談事業の実施						
具体的な取組内容	女性相談、母子相談、子育て相談、DVや児童虐待に関する相談、心配ごと相談業務の充実を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	様々な事情を抱える利用者が分け隔てなく利用しやすくなる。						
指標	心配ごと相談の相談件数			指標の出典	—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	—
目標 <平成28年度>	—						—
実績	64件	45件	46件	65件	80件	—	—
3年度	活動計画	心配ごとを相談できる身近な窓口として、利用者が分け隔てなく利用しやすい相談所の運営を継続する。					
	活動実績	新型コロナウイルス感染症のまん延のために就職活動が思うとおりにできず、自宅にいる時間が増えて家族関係が悪くなったり、などの相談があったほか、障がいをもつ子どもの将来への不安についての親からの相談などがあった。以前ここで話を聞いてもらったことで気持ちが軽くなったので再度来た、という相談者もいた。					
	課題等	相談内容が多岐にわたり複雑化しているため、相談員から「どのように話を受け止めるのがよいか」という不安の声がある。相談員研修会では、そのような要望に沿った研修を行っていきたい。					
	次年度の活動計画	心配ごとを相談できる身近な窓口として、利用者が気軽に立ち寄れる利用しやすい相談所の運営を継続する。					

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.43	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施							
具体的な取組内容	DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進める。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV防止についての啓発を実施することで、DVで悩む人が安心して相談するようになる。 DV加害者がDVとの認識を持ち、DVをしなくなる。							
指標	DVの啓発回数			指標の出典	-			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<平成28年度> 5回						→ 5回	
実績		9回	7回	5回	6回			
3年度	活動計画	DV防止のチラシ等を作成・配布する。						進捗状況 A
	活動実績	①エンパワーメント発見講座でDV等の内容の男女共同参画パンフレットを配布 ②DV職員研修実施 ③公共施設のトイレ等にDVミニパンフ（国際ソロプチミスト安城寄贈）及び男性相談窓口カード（県より配布）を設置 ④中学3年生にデータDV等の内容のリーフレットを配布 ⑤市公式ウェブサイトで啓発 ⑥広報あんじょう11月号で啓発						
	課題等	相談先などミニパンフの内容を見直す必要がある。						
	次年度の活動計画	引き続きDV防止のチラシ等を作成・配布する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 N.43
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	DV防止に向けた情報提供・啓発の実施						
具体的な取組内容	DVの相談窓口の周知やパンフレットを作成・配布し、DVに関する知識の普及を進める。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV防止についての啓発を実施することで、DVで悩む人が安心して相談するようになる。 DV加害者がDVとの認識を持ち、DVをしなくなる。						
指標	DV啓発人数		指標の出典				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						市内21小学校 (全新1年生保護者)
実績		21小学校	21小学校	21小学校	21小学校		
3年度	活動計画	小学校入学説明会などを利用し、啓発を行う。					進捗状況
	活動実績	冊子を市内21小学校の全新1年生保護者に配布した。					B
	課題等	新型コロナウイルス感染症のため、小学校入学説明会での説明が行えなかった。					
次年度の活動計画		小学校入学説明会などを利用し、啓発を行う。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 N.44
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	DVに関する相談対応の実施						
具体的な取組内容	DV被害者の早期対応を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	被害に合った時にすぐに相談できる体制をつくることで、市民が早期に相談ができるようになる。						
指標	DV被害を受けた後、どこにも相談しなかった人の割合			指標の出典	-		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<平成28年度>						50.6%
実績	52.5%	-	-	-	-		
3年度	活動計画	引き続きDV庁内会議で被害者対応の情報共有をする。					進捗状況
	活動実績	DV庁内会議を開き、市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有した。					
	課題等	市民アンケートにて指標の数値を求めるが、令和3年度は市民アンケートを実施していないため、把握できていない。					A
次年度の活動計画		引き続きDV庁内会議で被害者対応の情報共有をする。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民安全課 No.44	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	DVに関する相談対応の実施							
具体的な取組内容	DV被害者の早期対応を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、相談しやすくなる。 DV被害者が、住民票等の支援措置受けることで、生活の建て直しがしやすくなる							
指標	DVに関する相談件数			指標の出典				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度>							
実績	8件	3件	0件	2件	3件			
3年度	活動計画	相談窓口の周知を広報、ウェブサイト、紙資料配布により実施する。						進捗状況
	活動実績	広報あんじょう（毎月掲載）、市ウェブサイト、相談窓口一覧表の配布により、相談窓口開設に係る案内を行った。						B
	課題等	引き続き、様々な方法で市民への周知を図る必要がある。						
次年度の活動計画		相談窓口の周知を広報、ウェブサイト、紙資料配布により実施する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.44
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	DVに関する相談対応の実施						
具体的な取組内容	DV被害者の早期対応を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が安心して相談できるようになる。						
指標	DVに関する相談件数		指標の出典		—		
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>		→ —				
実績	22件	21件	10件	6件	4件		
活動計画	庁内会議を通じて各課の相談・支援状況の共有や連携を図る。						進捗状況
3年度 活動実績	各課におけるコロナ禍のDV相談状況や対応状況の共有を図ることができた。						B
課題等	今後も各課の担当者が適切に相談・支援ができるよう、個別ケースの共有が必要である。						
次年度の活動計画	庁内会議を通じて各課の相談・支援状況の共有や連携を図る。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課 子育て支援課 No.45
施策	(2) DVの啓発と早期対応					
取組	被害者支援にあたっての関係機関との連携強化と適切な一時保護の実施					
具体的な取組内容	女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と横断的に連携をとり、被害者を適切に一時保護する。					
男女共同参画の視点からの達成目標	女性相談センター、児童相談センター、警察及び市の関係部署と連携して、職員が、被害者を適切に一時保護をし、身体の安全を確保できるようになる。					
指標	一時保護件数		指標の出典			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
目標	<H28年度>					
実績	1件	1件	2件	2件	0件	
活動計画	関係機関との連携を図り、身の安全を図る。					進捗状況
3年度 活動実績	被害者を一時保護するケースがなかった。					B
課題等	職員が適切に一時保護、母子生活支援施設への入所など支援できるスキル維持が必要である。					
次年度の活動計画	被害者支援にあたっての関係機関との連携強化と適切な一時保護の実施のため、DVマニュアルを更新する。					

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 N o.46					
施策	(2) DVの啓発と早期対応											
取組	被害者の自立支援											
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。											
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が自立した生活が送れるようになる。											
指標	—		指標の出典		—							
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度						
目標	<平成28年度>						→ —					
実績	—		—		—							
3年度	活動計画	引き続き行政はDV被害者の希望を聞き取り、庁内関係部署と連携して必要な支援をする。						進捗状況				
	活動実績	市民安全課、市民課、社会福祉課、障害福祉課、高齢福祉課、子育て支援課、市民協働課でDV相談対応を情報共有して、DV庁内会議を開催した。						A				
	課題等	新型コロナウイルス感染拡大を要因とした相談件数増加に対応した連携が必要である。										
次年度の活動計画	引き続き行政はDV被害者の希望を聞き取り、庁内関係部署と連携して必要な支援をする。											

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課 市民安全課	市民安全課 No.46	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	被害者の自立支援							
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。							
男女共同参画の視点からの達成目標	DV被害者が、市民相談、女性相談、法律相談などを活用し、生活の建て直しの方法を見出す。							
指標	—			指標の出典	—			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<H28年度> 一	—	—	—	—	—		
実績		—	—	—	—	—		
3年度	活動計画	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施する。						進捗状況
	活動実績	市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施した。						B
	課題等	市民協働課・子育て支援課など関係各課との連携を強化する必要がある。						
次年度の活動計画		市民相談、女性相談、法律相談など支援できる相談業務を実施する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.46
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	被害者の自立支援						
具体的な取組内容	DV被害者が自立した生活が送れるよう長期的な支援を行う。						
男女共同参画の視点からの達成目標	市が、支援措置や一時保護をした母子に対して今後の生活設計を十分に聞き取り、自立した生活が送れるように府内が連携して支援することができる。						
指標	関係部署とのコア会議回数			指標の出典			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						
実績	0回	0回	0回	0回			
活動計画	今後も各担当と連携できるよう努める。						進捗状況
3年度 活動実績	コア会議の回数はなかったが、府内が連携できるように会議を実施している。						B
課題等	各担当同士の連携はとれているが、コア会議を開催していないため方針がずれないようとする。						
次年度の活動計画	各担当と連携できるよう努める。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民協働課 No.47	
施策	(2) DVの啓発と早期対応							
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化							
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。							
男女共同参画の視点からの達成目標	研修を受講した職員がDVに対する認識や理解を深めることができる。							
指標	市職員向けDV研修の実施回数			指標の出典	-			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度		
目標	<平成28年度>						1回	
実績	0回	1回	1回	1回	1回			
活動計画	市民協働課、子育て支援課と共同で職員へDVについての研修を実施し、DV被害者への対応方法等を知ってもらう。							
3年度	活動実績	DV職員研修を実施。（53人参加） 講師：具 ゆり 氏（ウィメンズカウンセリング名古屋YWCA）						
	課題等	参加者の中には、DV被害者と接する機会がないと考える職員がいた。DVについての理解をさらに促し、被害者が市役所へ来た時に、どの課の窓口でも正しい対応ができるように今後も研修が必要である。						
次年度の活動計画		引き続き市民協働課、子育て支援課と共同で職員へDVについての研修を実施し、DV被害者への対応方法等を知ってもらう。						

A

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	市民課 No.47
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化						
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	職員が、住民情報の支援措置の制度を認識することで、DV被害者の個人情報が守られる。						
指標			指標の出典				
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						
実績	－		－	－	－		
活動計画	引き続き、住民情報の支援措置の制度について、関係課の職員へ説明会を実施する。						進捗状況
3年度 活動実績	説明会を実施した（1回）						B
課題等	課によってDV支援の意識に差がみられるため、被害者保護の重要性について周知徹底が必要。						
次年度の活動計画	引き続き関係課の職員へ説明会を実施する。						

第4次男女共同参画プラン進捗管理シート（令和3年度）

基本目標	5 人権の尊重とDVの根絶					担当課	子育て支援課 No.47
施策	(2) DVの啓発と早期対応						
取組	二次被害の防止に向けた市役所対応の強化						
具体的な取組内容	女性や児童に対する暴力の認識を深め、被害者を早期発見することができるよう市職員・教職員への研修を実施する。また、個人情報保護の取り扱いについて周知徹底を図る。						
男女共同参画の視点からの達成目標	研修を受講した職員が、DVに対する認識や理解を深めることができる。						
指標	市職員向けDV研修の参加者数		指標の出典	社会福祉事務所新任研修受講者			
基準年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
目標	<H28年度>						→
実績	40人	31人	55人	52人	53人		
活動計画	全課対象の市職員向けDV研修のテーマや内容を関係各課と調整の上、決定し、今後もDVに対する認識、理解できるように努める。						進捗状況
3年度 活動実績	外部講師を招き、DVの基礎知識やDV被害者への対応等について理解を深めることができた。						A
課題等	受講者の年齢や経験もさまざまであるため、DVに対する認識や基本的な理解に加え、実践的な対応方法を学ぶことができるような工夫が必要である。						
次年度の活動計画	全課対象の市職員向けDV研修のテーマや内容を関係各課と調整の上、決定し、今後もDVに対する認識、理解できるように努める。						